



週間情報



No.2948

発行日 平成29年12月12日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 広報事務担当者研修会・法制執務研修会を熊本市において開催

全国消防長会

全国消防長会は、平成29年12月7日（木）、熊本県熊本市（熊本市国際交流会館）において、熊本県消防長会の協力のもと、同県内において広報や渉外を担当している職員等に対し、午前中に広報事務担当者研修会、午後に法制執務研修会を開催しました。

当日は、県内12消防本部、延べ130人の消防職員が参加し、今年度からの新規事業として開催した広報事務担当者研修会では、広報能力の向上を図るため、KKT！くまもと県民テレビ（株式会社熊本県民テレビ）から報道部記者の中村圭一氏を講師に招き、「変貌を遂げる“現場”～SNS時代に報道が求めるもの～」と題した講義をしていただきました。

法制執務研修会では、消防本部内のリスク管理やコンプライアンスの充実を図るため、全国消防長会顧問弁護士である木下健治氏を講師に迎え、「消防関係判例100」及び「消防行政相談事例集」（一般財団法人全国消防協会発行）を用いて、災害活動業務、指令業務、予防業務、パワーハラスメント等に関する判例等について講義していただきました。

研修会の後には、全国消防保険サービス株式会社代表取締役社長の鈴木洋氏より、業務中の賠償リスクと保険についての説明も併せて実施しました。

今後の予定としては、四国支部（平成30年1月25日・徳島市）他からの依頼により実施することとしております。



【広報事務担当者研修会の様子】



【法制執務研修会の様子】

◆ 消防職員安全衛生研修会を開催

全国消防長会東海支部

全国消防長会東海支部（事務局：名古屋市消防局）では、平成29年12月1日（金）、名古屋市港文化小劇場において、消防職員安全衛生研修会を開催しました（一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会共催）。

本研修会は、消防職員等の惨事ストレスの要因やその対応方法について理解を深め、職場におけるメンタルヘルス対策に役立てることを目的に、愛知学院大学心身科学部心理学科准教授の牧田潔氏を講師として行いました。

特に、消防職員特有の災害現場におけるストレスについて、具体的な事例、予防対策の方法、職場での環境作りなど組織によるサポート体制の構築等についてのアドバイスや職場におけるメンタルヘルスの現状、ストレスへの対処法など大変参考となる研修会でした。



【会場の様子】



【講演の様子】

行 事

◆ 大津市女性防火クラブ連合会及び大津市消防音楽隊30周年記念大会を開催

大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、平成29年11月19日（日）、ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）において、昭和62年から今年で発足30周年となる大津市女性防火クラブ連合会及び大津市消防音楽隊の合同記念大会を開催しました。

当日は、連合会長表彰、連合会活動報告などの記念式典に始まり、笑福亭松枝氏による笑いあふれる記念講演「火の用心!日々用心!!」と題した落語、そして市内保育園児の演技や市内中学校吹奏楽部・県内他消防本部の演奏が行われ、最後には各団体による盛大な合同演奏で幕を閉じました。市長をはじめ400名を超える方々に来場していただき大盛況となりました。

今後も、今までの活動で培った強い絆と大きな防火の心を原点として、市民や関係団体の方々のお力添えのもと邁進していきます。



【記念大会の様子】

◆ 「消防団祭り！入ろう消防団！」を開催

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、平成29年11月19日（日）、市内量販店催事場（オープンモール）において、消防庁委託事業である「女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」を活用し、県内で活躍している歌手やお笑い芸人によるステージイベント、公開生ラジオ放送、消防団活動体験ブースを併設した複合的なイベントを開催しました。

本イベントを開催するにあたり、市民へ「消防団を知ってもらう」ことを特に重要視して、お笑い芸人を起用した「新規団員募集やイベント開催告知ポスター」を作成し、ラジオ放送と連携した事前告知を行ったところ、イベント当日は、多くの市民に参加していただき「笑い」の絶えない楽しいイベントとなりました。

イベント全体において消防団の紹介ができたことが功を奏し、女性や大学生をはじめとして、17人の新規団員への申込みがあり、当市としては、同イベントの開催が、新規団員の確保という所期の目的を達成し、大きな成果があったものと考えています。

引き続き、消防局、消防団一丸となって、消防団員の確保に努めると共に、消防団の普及、啓発を図り、地域防災力の担い手である消防団の充実強化を目指し取り組んでまいりたいと思います。



【イベントの様子】



【作成したポスター】

◆ 八千代市消防音楽隊コンサートを開催

八千代市消防本部（千葉）

八千代市消防本部では、平成29年11月23日（木）、八千代市市民会館において、八千代市制施行50周年記念及び消防本部発足50周年を記念し、消防音楽隊コンサートを開催しました。

当日は、市立大和田中学校吹奏楽部の共演により、900名を超える大勢の市民の皆様にご来場いただき、「市民ボランティア」の方々が加わった消防音楽隊の楽曲も披露し、合同での迫力ある演奏により大盛況のうちに幕を閉じました。



【コンサートの様子】

◆ 三部局合同夜間特別立入検査を実施

水戸市消防本部（茨城）

水戸市消防本部では、平成29年11月24日（金）、年末を迎えるにあたり、繁華街の雑居ビルからの火災を未然に防止し、出火時の被害を軽減するとともに利用者等の安全・安心を守るため、水戸警察署及び水戸保健所と連携し、県内初の「三部局合同夜間特別立入検査」を実施しました。

合同（部局混在）の班編成による総勢70人体制で、9棟76店舗に及ぶ飲食店等のテナントについて防火管理体制、火気使用状況及び階段、通路等避難施設の維持管理状況を重点的に検査しました。

避難経路等に障害物はありませんでしたが、その他の指摘事項については改修の報告を求め速やかな改善を促すとともに、履行状況に応じて是正指導や違反処理を行い、防火安全対策の徹底を図ってまいりたいと考えております。

今後も継続して実施し、関係部局とのさらなる連携強化を図るとともに、検査員のスキルの向上に取り組んでいきたいと思っております。



【立入検査の様子】

◆ 富士宮市制施行75周年記念事業「消防フェスティバル2017」を開催

富士宮市消防本部（静岡）

富士宮市消防本部では、平成29年11月25日（土）、防火防災思想の向上を目的として、消防フェスティバル2017を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、雪化粧をした世界遺産「富士山」のもと、多数の市民の方々にご来場いただき、式典及び関係各団体の演技・演奏、並びに消防団による出店等が催されました。また、各体験ブースも大変な盛り上がりを見せました。



【フェスティバルの様子】

◆ 平成29年度幼年、少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会を開催

出雲市消防本部（島根）

出雲市消防本部では、平成29年11月25日（土）、出雲市幼年、少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会を開催しました。

本研修は、各団体の指導者の方々に防火防災に関するゲーム（ぼうさいダック：体を使うゲーム、なまずの学校：クイズゲーム、シャッフル：トランプ形式）を子供達と一緒に体験していたき、家庭でも楽しく防火防災が学べるゲームを紹介しました。



【研修会の様子】

※「ぼうさいダック」は、安全・安心の「最初の第一歩」（英語ではファースト・ムーヴ“first move”といいます）を、子どもたちに実際に身体を動かし声をだして遊びながら学んでもらうためのゲームです。（一般社団法人日本損害保険協会ホームページから出典）

「なまずの学校」は、地震などの災害で発生する様々なトラブルを紙芝居形式で出題し、トラブルを解決するのにもっともふさわしいと思う「なまずカード(アイテムカード)」を出してもらい得点を競うゲームです。（「NPOプラス・アーツ」ホームページから出典）

「防災カードゲーム シャッフル」は、“イザ”という時に役に立つ、「災害用伝言ダイヤルのかけ方」や「紙食器の折り方」、「ペットボトルろ過器の作り方」などを、カードゲームで遊びながら、おぼえることができます。（「NPOプラス・アーツ」ホームページから出典）

◆ 宝塚大劇場にて自衛消防訓練指導を実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、平成29年11月27日（月）、宝塚大劇場で自衛消防訓練指導を実施しました。

宝塚歌劇団の本拠地である宝塚大劇場は、2016年には年間117万人の動員を記録した、客席数2550席の大規模な劇場で、災害発生時には多数の傷病者の発生が予想されます。

そのため、公演の幕間に観客を含めての避難訓練を実施し、組織化された活動を必要とする実戦的な訓練となりました。また、避難訓練終了後は、大劇場職員が屋内消火栓及び訓練用消火器を用いて消火訓練を実施し、初期消火の重要性について理解を深めることができました。

職員と観客とが一体となり自衛消防訓練を実施することで、多くの人に緊急時の備えについての知識を広め、防災意識の向上につながる非常に有意義な訓練となりました。



【会場の様子】



【避難訓練の様子】

◆ 地域を守る！繁華街の夜間特別査察を実施

甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨）

甲府地区広域行政事務組合消防本部では、平成29年11月29日（水）、歳末期を迎えるにあたり、多数の飲食店等が集まる甲府市中心街の風俗店等が入店する雑居ビルを対象に、今年度2回目となる無通告による夜間特別査察を実施しました。

安全・安心な街づくりを実現するため、甲府警察署、甲府市建設部、甲府地区消防本部の合同による建物の防火や防犯に関する事項について、それぞれの目線で確認しました。

本特別査察の結果、40店舗のうち16店舗に違反があり、そのうち階段室に物件を存置していた2店舗に対して消防法第5条の3に基づく除去命令を行いました。

甲府地区消防本部では、引き続き合同による連携を堅固なものとして、繁華街夜間特別査察を実施していきます。



【出発式の様子】

◆ 「災害時における消防活動の協力に関する協定」締結式

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、平成29年12月1日（金）、岩内郡岩内町役場において、後志管内4消防本部と小樽建設協会との間で「災害時における消防活動の協力に関する協定」の締結式を執り行いました。

本協定は、後志管内で発生した災害に対し、消防機関だけでは迅速かつ安全な活動が困難な場合に重機などを使用した瓦礫の除去などの消防活動の応援協力に関するものです。

締結式には、小樽建設協会から吉本正則会長、佐々木徹副会長、中野豊副会長、安達栄次郎事務局長、後志管内4消防本部（小樽市、岩内・寿都地方消防組合、羊蹄山ろく消防組合、北後志消防組合）から土田和豊消防長、井口元喜消防長、川村順二消防長、高木義勝消防長が出席し、災害時における消防活動の協力に関する協定が結ばれました。



【協定関係者による集合写真】

◆ 防火えとの引継ぎ式の開催

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、平成29年12月1日（金）、尼崎市防災センターにおいて、市内の園児約180名を招いて「防火えとの引継ぎ」を実施しました。

本イベントは、昭和56年から実施しており、今年で37回目を迎えました。

今年の干支の「とりさん」、来年の干支の「いぬさん」そして園児は、今年一年間の防火活動を称えとともに、来年一年間の安全を祈願しました。



【イベントの様子】

訓練・演習

◆ 管内２次救急医療機関との大規模災害医療訓練を実施

八女消防本部（福岡）

八女消防本部では、平成２９年１１月１８日（土）、福岡県八女市の公立八女総合病院において、大規模災害医療訓練を実施しました。

本訓練は、久留米市水縄活断層を震源とする震度７の地震が発生、八女市も震度５強の揺れを観測し、市内全域が被災したとの想定で実施し、医師、看護師、メディカルスタッフ、消防職員が参加しました。病院自体が被災しながらも地域の中核医療機関としての役割を果たすため、発災後、災害対策本部の設置、多数傷病者や重複する救急車の受入れ、病院内の被害状況確認、手術を継続するための対応等を確認しました。

今回の訓練成果を実際の災害で活かしていきます。



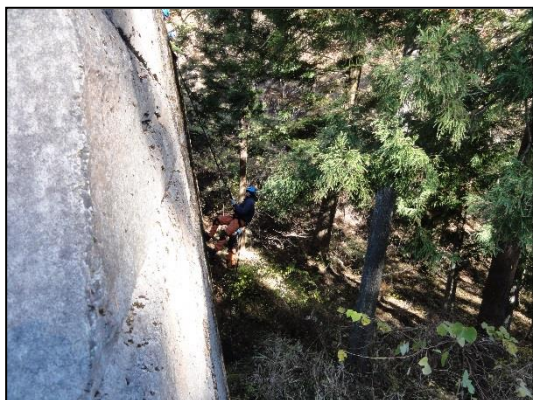
【訓練の様子】

◆ 山岳救助事案に備えての訓練を実施

富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部（山梨）

富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部では、平成２９年１１月２１日（火）、山梨県南都留郡西桂町にある三ツ峠さくら公園周辺において、山岳救助訓練を実施しました。

本山岳救助訓練には、山岳レスキューを専門とする２名の講師を招き、高度な山岳レスキューの技術を学び、近年増加傾向にある山岳救助に備えるため多数の職員が技術の習得に励みました。



【訓練の様子】

◆ 防災ヘリコプター救急搬送・夜間離着陸訓練の実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、平成２９年１１月２４日（金）及び２７日（月）、行田市消防本部飛行場外離着陸場において、埼玉県防災航空隊と連携し、救急搬送・夜間離着陸訓練を実施しました。

本訓練では、近年の気候変動に起因した自然災害により、市内が陸の孤島と化してしまったことを想定し、高次医療機関への中長距離搬送が必要となった場合の防災ヘリコプターによる搬送手段の再確認を目的に実施しました。

防災ヘリコプターの機動力の有効性を再確認すると共に、照明設備を活用し夜間の防災ヘリコプターの受け入れ態勢の強化に繋がる有意義な訓練となりました。



【夜間離着陸訓練の様子】

◆ ヘリコプターを活用した患者搬送訓練を実施

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城）

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部では、平成29年11月28日（火）、日立製作所ひたちなか総合病院及び浦川会勝田病院、並びに茨城県ドクターヘリ及び茨城県防災ヘリによる患者搬送訓練を実施し、医師、看護師、航空隊員及び消防隊員延べ50名が参加しました。

本訓練想定は、病院の患者が緊急手術の適応となり、手術室が満室のため、離れた医療機関にドクターヘリを使い緊急搬送を行うというものです。

また、ドクターヘリが出動中との想定により、茨城県防災ヘリによる傷病者搬送の訓練も行われました。

参加した医師からは「ドクターヘリと防災ヘリの違いと、要請手順が確認できた。」とコメントがありました。

今後も実践的な訓練を重ね、安全で安心できる地域づくりに努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 災害対応ピクトグラムを活用した訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、平成29年11月28日（火）、岡山市消防教育訓練センターにおいて、各隊の連携及び活動内容の統一化を図るため、NBC災害及び多数傷病者事故対応訓練を実施しました。

本訓練では、不特定多数の傷病者に効果的に情報を伝達するため、教育機関と共同で開発した災害対応ピクトグラムを活用し、その効果も検証しました。

交通事故の発生により、運搬車両から放射性物質が漏れ出し、多数の傷病者がいるという想定の中、声の届きにくい環境下でも、災害対応ピクトグラムを用いて視覚的に訴え、効果的に傷病者の誘導を行えることが立証できました。

今後は、警察、医療関係機関等との連携強化も視野に入れて、訓練を継続していきたいと考えています。



【「歩いてこちらへ」のピクトグラムを掲げる隊員の様子】

◆ 第1回高松市消防局警防技術指導会を実施

高松市消防局（香川）

高松市消防局では、平成29年11月28日（火）、香川県消防学校において、第1回高松市消防局警防技術指導会を実施しました。

本指導会は、人員と保有資機材を最大限に活用し、安全確実かつ迅速な警防技術の向上と、小隊内での連携強化を図ることを目的とし、「耐火造2階建一般住宅の2階1室10㎡が燃烧しており、2階ベランダに逃げ遅れ者1名あり」との想定で、高松市消防局内5消防署からの代表小隊5チームが、最優秀賞を目指して日頃培った技術を披露しました。

県内外から多数の見学者と、報道機関が来場し、指導会の様子は地元ケーブルテレビで約2週間放送予定です。



【訓練の様子】

◆ 城南ブロック消防本部協議会救急総合シミュレーション演習を実施

上球磨消防組合消防本部（熊本）

上球磨消防組合消防本部では、平成29年11月29日（水）、熊本県の南部に位置する4消防本部（八代広域行政事務組合消防本部、人吉下球磨消防組合消防本部、水俣芦北広域行政事務組合消防本部、上球磨消防組合消防本部）で合同の救急総合シミュレーション演習を実施しました。

本演習は、救急活動レベルアップを図る救急隊員教育を目的として毎年輪番で開催しているものです。

今回は救急救命士の再教育を兼ね、資格取得後5年目・10年目となる14名の救命士を4班に分け、特定行為基礎、想定シミュレーション×2、POTの4つのブースを、各班ローテーションで行いました。各本部の指導救命士指導の下、観察要領や手技の再確認及び救急活動における情報交換を行うことができ、有意義な演習となりました。



【演習の様子】

◆ 運転適性検査を実施

中濃消防組合消防本部（岐阜）

中濃消防組合美濃消防署では、平成29年11月30日（木）、岐阜県警察本部交通企画課の協力を得て、運転適性検査（CRT）を実施しました。検査は模擬運転装置を操作することで運転操作の適性を診断するもので、検査を受けた職員は自らの運転技術に潜む事故素因を自覚することができました。

今回の検査結果を踏まえ、今後も安全運転技術の向上に努めていきます。



【運転適性検査の様子】

研 修 等

◆ 119番口頭指導技術発表会を開催

西条市消防本部では、平成29年11月24日（金）、西条市西消防署において、通信指令員が行う119番通報での口頭指導技術の向上を図り、口頭指導による救命率向上を目的に、口頭指導技術発表会を開催しました。

本発表会には、当市消防職員に加え、近隣消防・医療従事者など80名が参加し、通信指令に携わる当市消防職員5名が、心肺蘇生法や止血、熱傷などの口頭指導技術を発表し、想定終了ごとに参加された医師・消防関係者と活発な意見交換を行いました。

今後も指令員のレベルアップに繋がるよう引き続き実施したいと考えています。

西条市消防本部（愛媛）



【口頭指導技術発表会の様子】

◆ 救急発表会を実施

四日市市消防本部（三重）

四日市市消防本部では、平成29年11月27日（月）、救急発表会を実施しました。

本発表会は救急隊員の知識・技術の向上、プロトコルに基づいた救急活動の再確認を行うことを目的として、4隊の救急隊が活動を行いました。

訓練内容は、心疾患による循環血液量減少性ショック症例、下血による循環血液量減少性ショック症例、心肺機能停止症例、低血糖による意識障害症例の4症例で、出動指令から医療機関搬送までの一連の流れを実施し、症例の進行については指導救命士が行い、その活動について地域メディカルコントロール担当医師が検証を行いました。

救急処置の領域が拡大しており、今後も医師と連携して隊員の知識、技術の向上を図っていきたいと考えております。



【救急発表会の様子】

◆ 女性職員向けハラスメント研修を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、平成29年11月28日（火）、今年2度目となる、女性職員を対象としたハラスメント研修を実施しました。

本研修には市長部局の保健師（女性）や産業カウンセラー（女性）を交え、働く女性の心の健康やセルフケアに関する講義を受けました。

また、グループ討議では、日頃抱えている悩みや課題についてお互い話し合い、課題が解決できる場になりました。女性のための空間を創り、意見の出しやすい環境づくりの工夫をしました。

参加した女性職員からは、女性が一同に揃って話せる機会が少ないためこのような機会はありがたいという意見が出ました。今後も女性職員が情報を共有し、支え合える体制づくりのため継続的に実施していきます。



【研修の様子】

その他

◆ 出張所新庁舎が完成

久留米広域消防本部（福岡）

久留米広域消防本部では、平成29年11月28日（火）、久留米消防署善導寺出張所の開所式を行い、組合議員や消防団をはじめとする関係者約50名が出席し、地域住民の安全・安心を守る拠点施設の完成を祝いました。

建物の老朽化と署所の再配置のため、旧庁舎から約2キロ東側に新築工事を進めていた新しい久留米消防署善導寺出張所は、RC造一部S造2階建て、延面積928.76㎡で、降下・登はん訓練施設や訓練用消火栓など各種訓練施設を庁舎と一体的に整備しており、出動準備室や女性職員の配置にも対応できる専用の居室を設けるなど、新たな機能が追加された庁舎となっています。



【新庁舎の外観】



【開所式の様子】

◆ 福岡都市圏消防共同指令センターを運用開始

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局では、平成29年11月30日（木）から福岡都市圏（9市8町・7消防本部）内の2消防本部（筑紫野太宰府消防組合消防本部・糸島市消防本部）を除く春日・大野城・那珂川消防組合消防本部、粕屋南部消防組合消防本部、宗像地区消防本部、粕屋北部消防本部の指令センターを一本化した、「福岡都市圏消防共同指令センター」の運用を開始しました。

本共同指令センターは、福岡市消防局の本部庁舎に整備され、管轄人口は、約230万人（6市8町）となり、運用方式は、福岡市が消防通信指令に関する事務の委託を受けて行う「事務委託方式」で行います。

なお、福岡都市圏消防共同指令センターには、筑紫野太宰府消防組合消防本部は2023年度頃から、糸島市消防本部は2029年度頃から参加する予定です。

運用開始に先立ち、平成29年11月13日（月）には披露式を開催し、福岡市長をはじめ、福岡都市圏の市町長、議長など約40名の方に出席いただきました。



【福岡都市圏消防共同指令センター内の様子】



【披露式の様子】

消防庁通知等

◆ 平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する今後の取組について

(平成29年12月8日、府政防第1546号、消防災第160号)

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)及び消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

政府では、平成29年7月九州北部豪雨による災害を踏まえ、住民の避難行動や市町村の防災体制等に関し、今後対応すべき事項を明らかにすることを目的に、「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する検討会」を開催し(平成29年10月30日)、検討結果等を取りまとめました(別添1及び別添2)。

貴職におかれましては、当該検討結果等と併せて、「避難勧告等に関するガイドライン」(平成29年1月内閣府(防災担当))に関連する下記事項を推進するよう、貴都道府県関係部局及び管内市町村へ周知していただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第245条の4第1項に基づく技術的助言であることを申し添えます。

(以下省略)

※別添1・2省略

<本件担当>

内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(調査・企画担当)付

参事官補佐 磯部 良太

主 査 吉松 直貴

TEL: 03-3501-5693 (直通)

消防庁 国民保護・防災部 防災課

災害対策官 光永 祐子

防災企画係長 和田 紘一

TEL: 03-5253-7525 (直通)

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2912/pdf/291208_fuseiboul546_sail60.pdf) に掲載されています。

報道発表

◆ 予防業務優良事例表彰の事例募集(平成29年12月4日、消防庁)

消防庁では、各消防本部の予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて予防業務優良事例として表彰し、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、予防部門のモチベーション向上を図るとともに、各消防本部の業務改善に資することを目的として、本日から平成30年1月19日(金)までの間、各消防本部の優れた取組事例を募集いたします。

【募集対象】

平成29年1月1日(日)から12月31日(日)までの間に各消防本部で力を入れた予防業務(危険物に関する業務も含む。以下同じ。)の取組を中心に、他団体の模範となる優れた事例を幅広く募集します。

【募集内容】

各消防本部の応募の参考に資するため、募集対象となる事例について、下記の区分を設けています。

- I 予防業務の実効性向上に関する取組
- II 予防業務の高度化・専門化に関する取組
- III 予防業務の効率化に資する取組
- IV 予防業務に係る他団体との連携に関する取組

- V 予防業務に係る人材育成に資する取組
- VI 予防業務に係る広報活動に関する取組
- VII その他予防業務の改善に資する取組

(以下、【募集期間】及び【表彰】省略)

※別添省略

(事務連絡先)
消防庁予防課 山中補佐、谷口
TEL 03-5253-7523 (直通)
FAX 03-5253-7533

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/12/291204_houdou_1.pdf) に掲載されています。

◆ 「地域防災力向上シンポジウム in 香川 2017」の開催(平成29年12月8日、消防庁)

地域防災の新たな担い手として期待される女性や若者をはじめとした、地域住民や自主防災組織、企業、教育、医療・福祉等各分野の連携を深め、地域の防災力を高めることを目的として、香川県高松市において「地域防災力向上シンポジウム」を開催します。

近年、日本各地では様々な災害が発生しており、南海トラフ地震など大規模地震の発生も危惧されている中、被害を最小限にとどめるためには、日頃から住民一人ひとりが災害に対して備えるとともに、地域における連携を深めることが重要です。

本シンポジウムは、地域防災の新たな担い手である女性や若者の活躍及びその更なる促進をはじめとする、地域防災力向上に寄与する各地の先進事例を共有し、またパネルディスカッションを通じて参加者一人ひとりが地域防災についての理解を深める契機とします。

1 日時及び場所

日時：平成29年12月16日(土) 13時30分～16時40分(予定)

場所：かがわ国際会議場(高松市サンポート)

2 内容(詳細別紙)

- (1) 基調講演(山口大学大学院創成科学研究科 瀧本 浩一氏)
- (2) 事例発表(株式会社富田組、県立琴平高校とらすとK)
- (3) パネルディスカッション(コーディネーター：香川大学 白木 渡氏)

3 参加人員 約400名

4 主催及び共催

<主催>消防庁、香川県、高松市、(公財)香川県消防協会

<共催>四国新聞社

※別紙省略

【担当】

消防庁国民保護・防災部地域防災室
(手塚、佐久間、吉田)

TEL : 03-5253-7561

FAX : 03-5253-7576

E-mail : syobodan@ml.soumu.go.jp

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/12/291208_houdou_1.pdf) に掲載されています。

◆ 「消防防災科学技術高度化推進検討会」の開催（平成29年12月8日、消防庁）

消防を取り巻く環境の変化、多岐にわたって顕在化した課題等に的確に対応するため、消防防災科学技術の更なる高度化を目指し、より効果的な研究・開発等を推進するための総合的、戦略的な方針「消防防災科学技術高度化プラン（2012）」の改訂について検討を行うため『消防防災科学技術高度化推進検討会』を開催することとしましたので、お知らせします。

1 背景・目的

今後発生が予測されている南海トラフ地震や首都直下地震をはじめとする地震災害に備えるとともに、近年相次いで発生している集中豪雨・台風等の自然災害がもたらす被害を軽減するため、消防防災の科学技術を活用した対応策はますます重要となっており、さらに、高齢化・人口減少に代表される社会構造の大きな変化、エネルギー事情の変化等消防を取り巻く環境の変化や課題に科学技術の側面からの的確に対応する必要があります。

このため、一層消防防災活動に貢献する消防防災科学技術の高度化を推進するため、消防防災に係る研究開発の関係者の一層の連携を図ることを目的として、「消防防災科学技術高度化戦略プラン（2017）」を策定するための検討を行う。（第1回は、12月13日開催）

2 主な検討項目

- (1) 消防防災を取り巻く「変化」への対応に関する事項
- (2) 消防防災への新しい技術領域の導入に関する事項
- (3) 上記を踏まえ、一層消防防災活動に貢献する消防防災科学技術の高度化を推進するための方策に関する事項

3 開催日時等（第1回開催予定）

日時：平成29年12月13日（水）10時から12時まで

場所：東京都千代田区霞が関3-1-1

中央合同庁舎第4号館12階 全省庁共用1211会議室

4 検討会委員

別紙のとおり

※別紙省略

＜事務局連絡先＞

消防庁総務課 守谷 ・ 中嶋

TEL：03-5253-7541

FAX：03-5253-7533

Mail：gisei2@ml.soumu.go.jp

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/12/291208_houdou_2.pdf) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail：weekly@fcaj.gr.jp